

【技術の名称】 柱 RC 梁 S ハイブリッド構法 -梁貫通型柱 RC (SRC) 梁 S 接合部構法- (改定)	性能証明番号：GBRC 性能証明 第10-05号 改 性能証明発効日：2012年3月30日
	【取得者】 RCS ハイブリッド構法研究会

【技術の概要】

本技術は、柱を鉄筋コンクリート (RC) 造、梁を鉄骨 (S) 造とし、XY 両方向の鉄骨 (H 形鋼) 梁を貫通させ、ふさぎ板形式またはせん断補強筋形式によって柱 RC 梁 S 接合部を構築する構法である。本構法による柱 RC 梁 S 接合部は、建物外周をせん断補強筋形式、建物内部をふさぎ板形式とすることを基本とし、せん断補強筋形式の場合、H 形鋼梁との境界部に支圧板を配置している。

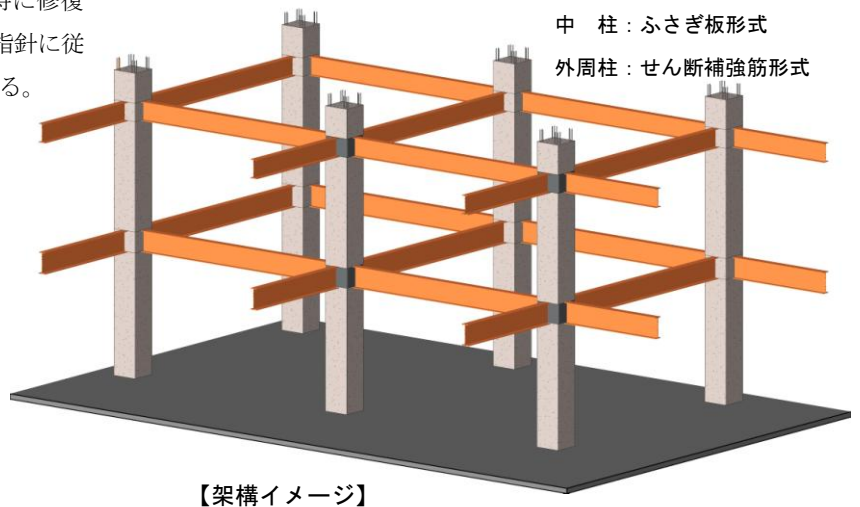
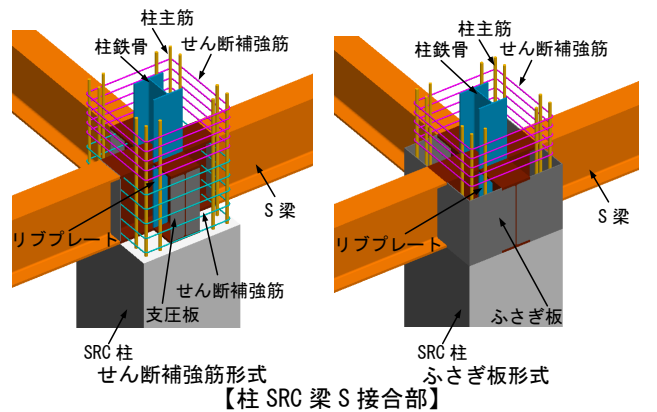
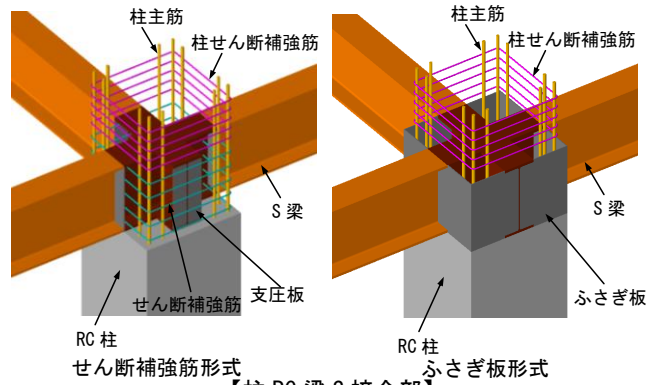
本構法は、2010年5月18日に GBRC 性能証明 第10-05号を取得しており、今回の改定では、柱を鉄骨鉄筋コンクリート (SRC) 造、梁を鉄骨 (S) 造とした梁貫通型の接合部を適用範囲に追加するとともに、最上階柱頭部の柱主筋定着に関する構造規定を変更している。

【技術開発の趣旨】

本技術は、工期および施工費用の制約条件の下、設計で要求される構造性能の確保が可能な RC (SRC) 造柱、S 造梁からなる混合構造建築物の実現を意図して開発されたものである。

【性能証明の内容】

本技術についての性能証明の内容は、以下の通りである。申込者提案構法による柱 RC (SRC) 梁 S 接合部は、長期荷重時に使用上支障となるひび割れおよび短期荷重時に修復性を損なうひび割れ等の損傷を起こさず、同設計指針に従い求めた終局耐力以上の耐力を有すると判断される。



【架構イメージ】

【本技術の問合せ先】

RCS ハイブリッド構法研究会 (青木あすなる建設、淺沼組、奥村組、西武建設、大末建設、東亜建設工業、西松建設、間組、長谷工コーポレーション)

(代表会社) 株式会社淺沼組 担当者：山内 豊英 E-mail：yamauchi-toyohide@asanuma.co.jp

〒569-0034 大阪府高槻市大塚町 3-24-1 TEL：072-661-1631 FAX：072-661-1730